

◆ 為替レートに関する国際セミナー ◆

「SCAPEGOAT MODEL AND PERCEIVED EXCHANGE RATE」



2026年2月4日(水)



16:10～17:40



滋賀大学彦根キャン
パス 士魂商才館3階
セミナー室1



使用言語(英語)
参加自由

研究報告

1. Yin-Wong Cheung
教授(カルフォルニア大学
サンタクルーズ校名誉教授)

2. 吉田裕司教授
(滋賀大学)



1.SCAPEGOAT MODEL

為替レートが大きく動いた時に、事後的に「〇〇」が原因であると報道がされることがあります。このように通貨や時代によって異なる原因を解明するモデルを「scapegoat」モデルと呼んでいます。

※「scapegoat」の意味には、関係が無いのに原因や犯人とされることが含まれます。

2.PERCEIVED EXCHANGE RATE

為替レートは外国為替市場で決定されますが、その水準を「円高」と受け止めるか、「円安」と受け止めるか、は時代や経済状況によって異なるはずです。

人々が認識している「認知為替レート(perceived exchange rate)」をメディア情報から構築しています。

みんな大歓迎！